●基本情報

事	業名(取組名)	旧東文間小学校管理	事業				評価番号	3-3-9-1		
	担当課	担当課 生涯学習課【生涯学習セ 係 庶務係					□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続けるる	まちづくり	-	会計	[01] 一般会計			
	基本施策	【3】学びやすい生涯学	2習環境の整	警備	予算	款	【0109】教育費			
基本	施策	【9】生涯学習環境の整	備充実		科目	項	【010904】社会	教育費		
計画		①生涯学習施設の有効活	用			Ш	【01090401】社	会教育総務費		
	主な取組					事業	旧東文間小学校	管理事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	30 年度	事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度)	単年度繰り返し	○ 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	✓ 委託	(全部委託	☑ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	3 □ その他	<u> </u>)
実施形態	☑町単独 □国·県補即	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上	:乗せ)	, ()
事業概要	旧東文間小学校跡地の管	理のため,環境整例	備の充実を図	ঠ ঃ	

旧東文間小学校跡地の管理のため、除草業務委託、樹木伐採工事を行い、環境整備の充実を図った。

●実施 ~D0~

事業 業績 主な歳出の節 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 令和4年度(実績) 10 需用費 0 円 0 39, 930 円 円 円 0 円 円 11 役務費 36, 652 0 支 12 委託料 429,000 円 466, 400 円 435, 600 円 訳 14 工事請負費 1, 765, 500 円 605,000 円 605,000 円 出 円 円 円 その他 円 54, 085 円 円 事業費 計 2. 194. 500 円 1. 125. 485 円 1. 117. 182 円 令和2年度(実績) 令和3年度(実績) 令和4年度(実績) 主な歳入の科目 国支出金 円 円 円 円 円 円 県支出金 財 円 円 円 受益者負担金 地方債 円 円 円 源 その他 円 円 円 一般財源 円 2, 194, 500 円 1, 125, 485 円 1, 117, 182 事業費 計 2, 194, 500 円 1, 125, 485 円 1, 117, 182 円

			香材! アルス	
	①政策目的との整合性	0	貢献している	○ 見直す余地がある
	() 政東日的との釜合性		学びやすい生涯学	習環境の整備を行っている。
	事業目的が上位政策(主な取組)の達	理		
	成に貢献しているか。	由		
妥当				
性		•	妥当である	○ 見直す余地がある
	②町関与の妥当性			した学びやすい町の生涯学習施設として有
	町が事業主体として事業を行うことが	理	効活用するための整体	備を行っている 。
	妥当か。	由		
		•	余地がない	○ 見直す余地がある
	③成果の向上余地			として有効活用するために取り組んでお
	事業内容を工夫することにより成果を	理	り,生涯学習環境のヨ 	整備を行って施設の利活用を検討する。
有	向上させることができるか。			
			可能性がある	● 可能性がない
	④廃止・休止の可能性			果からも,事業の廃止・休止は困難であ
効	事業の内容や成果から廃止・休止でき	理	る。	
効 性	るか。			
		-1	○可能性がある ○可	能性がない ●類似事業はない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性		事業内容から、類似	以事業はないと考える。
	類似事業との統廃合・連携を図ること	理		
	により成果が期待できるか。	由		
		0		余地がある
効	⑥事業費の削減余地			去の変更等を見直しできれば、成果を下げ
率		理	ずにコストの削減の領	余地がある。
性	成果を下げずにコスト削減できるか。	由		
		0	適正である	見直す余地がある
۸.	⑦受益者負担の適正化	•	受益者負担を求める事業で	はない
公 平	****		事業内容から受益	者負担を求める事業ではない。
· 性	事業内容から受益者の負担割合は適正 か。	理		
	,,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,,	由		
			I	

	継続(●現状維持	○縮小	○改善	○拗大	○休止	〇廃止 (終了)	○統廃合	○連携
	【理由】								
今	旧東文	間小学校の領	き理を行い	、引き続	き環境の整	備をし, a	あわせて生涯学	習施設として	て有効活用できるよう
_	事業に取	り組み維持	・整備に努	らめる。					
の 方									
向									
性									

●基本情報

事	業名(取組名)	文化センター管理事	業				評価番号	3-3-9-2(1)	
	担当課 生涯学習課【文化セン 係 庶務係					□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続けるる	まちづくり	予	会計	【01】一般会計		
	基本施策	【3】学びやすい生涯学習環境の整備					【0109】教育費		
基本	施策	【9】生涯学習環境の整備充実					【010904】社会	教育費	
計画		②生涯学習施設の整備			目	目	【01090402】文	化センター費	
I	主な取組					事業	文化センター管	理事業	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称		
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	年度	☑ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終 ⁻	了年度:令和	年度) ● 単年度繰り返	し 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	[] 全部委託] 一部委託]	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	∃ その他 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補I	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗せ)	 他()
事業概要	施設利用者が安全且つ	快適に施設を利用	できるよう施設管理の充実を	·図る。

●実施 ~D0~

施設設備全般の適切な維持管理を実施し、老朽化した設備の充実を図るため地下灯油タンクの修繕や、利用者の利便性向上のためエレベーター設置工事を実施した。

事業 業績

		主な歳出の節	令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
		1 報酬	1, 803, 356	円	1, 886, 879 円	1, 760, 188 円
		10 需用費	8, 963, 310	円	6, 902, 975 円	7,971,010 円
支	内	12 委託料	5, 912, 300	円	10, 261, 790 円	8, 188, 620 円
出	訳	14 工事請負費	79, 970, 000	円	715,000 円	57, 035, 000 円
		17 備品購入費	367, 400	円	141,900 円	146, 981 円
		その他	849, 135	円	173, 290 円	928, 210 円
		事業費計	97, 865, 501	円	20, 081, 834 円	76, 030, 009 円
		主な歳入の科目	令和2年度(実績)		令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
		国支出金	0	円	715,000 円	89,000 円
		県支出金		円	Ħ	円
財	内	受益者負担金		円	円	円
源	訳	地方債	79, 970, 000	円	4, 235, 000 円	56, 600, 000 円
		その他	1, 088, 398	円	1,077,253 円	1, 937, 947 円
		一般財源	16, 807, 103	円	14, 054, 581 円	17, 403, 062 円
		事業費 計	97, 865, 501	円	20,081,834 円	76, 030, 009 円

		•	○ 見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献しているか。	理由	生涯学習環境の整備を行い, 誰もが気軽に利用できる生涯学 習施設として貢献している。
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当か。	理由	○ 見直す余地がある 町民の生涯学習活動の推進を図るため、施設の整備及び効率 的な運営を行い、町が事業主体として行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができるか。	理由	○ 余地がない ○ 見直す余地がある 常に利用者が安全・安心且つ快適に利用できるよう管理運営を行っており、余地がないと考える。
有 効 性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき るか。	理由	可能性がある● 可能性がない生涯学習活動の推進のため、廃止・休止はできないと考える。
妥当性 有効性 効率性 公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できるか。	理由	○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない事業内容から、類似事業との統合・連携による効果は期待できない。
率	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。)余地がない 余地がある 利用者が安全・安心・快適に施設を利用するために、維持管理コストを削減することは困難である。
平	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 か。	理由	適正である

	継続 (●現状維持 ○縮小 ○改善 ○ 協大 ○ 体止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○ 連携
	【理由】
今	生涯学習活動の拠点として、幅広い年齢層が安全・安心・快適に利用出来る施設管理運営に努める。
後 の	
方	
向	
性	

●基本情報

事	業名(取組名)	生涯学習センター管	理事業				評価番号	3-3-9-2(2)		
	担当課	生涯学習課【生涯学習センター】	係	庶務係			□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり				[01] 一般会計			
基本	基本施策	【3】学びやすい生涯学	習環境の整	整備	予算	款	【0109】教育費			
	施策	【9】生涯学習環境の整	備充実		科目	項	【010904】社会	教育費		
計画		②生涯学習施設の整備				目	【01090403】生涯学習センター費			
1	主な取組					事業	生涯学習センタ	一管理事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	14 年度	事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度)	単年度繰り返し	単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	✓ 委託	〔 全部委託	☑ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	_□ その(t	也 ()
実施形態	☑町単独 □国·県補助	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上	二乗せ) □その他	2 (
事業概要	地域活動の拠点として図る。	, 生涯学習センタ ⁻	一の利用者が	快適に使用できる	るよう管理運営の充実を

●実施 ~D0~

地域活動の拠点として、生涯学習センター運営管理に対し、適宜予算措置を行い環境整備の充実を図った。

事業業績								
	主な歳出の節		令和2年度(実績)		令和3年度(実績)		令和4年度(実績)	
		1 報酬	789, 300	円	824, 600	円	831, 069	円
	内訳	10 需用費	3, 255, 904	円	3, 267, 884	円	4, 472, 617	円
支			3, 338, 163	円	2, 905, 628	円	3, 035, 648	円
出		14 工事請負費	1, 303, 082	円	1, 190, 200	円	1, 289, 200	円
		17 備品購入費	774, 950	円	2, 287, 120	円	2, 322, 980	円
		その他	1, 022, 541	円	946, 550	円	924, 924	円
		事業費 計	10, 483, 940	円	11, 421, 982	円	12, 876, 438	円
		主な歳入の科目	令和2年度(実績)		令和3年度(実績)		令和4年度(実績)	
		国支出金	0	円	127, 840	円	3, 515, 380	円
		県支出金		円		円		円
財	内	受益者負担金		円		円		円
源	訳	地方債	800, 000	円	1, 200, 000	円	0	円
		その他	933, 413	円	706, 394	円	1, 412, 462	円
		一般財源	8, 750, 527	円	9, 387, 748	円	7, 948, 596	円
		事業費 計	10, 483, 940	円	11, 421, 982	円	12, 876, 438	円

		0	貢献している 見直す余地がある
	①政策目的との整合性	理	生涯学習施設の環境整備を行い、趣味のサークル活動など、 誰もが気軽に利用できる生涯学習施設として貢献している。
	事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献しているか。		
妥当			
性	②町関与の妥当性	0	妥当である ○ 見直す余地がある ○ 見直す余地がある ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	町が事業主体として事業を行うことが	理	有効活用するため妥当である。
	妥当か。	由	
		0	余地がない
	③成果の向上余地		生涯学習活動の拠点となるよう、施設の整備及び効率的な運
	事業内容を工夫することにより成果を	理由	営を行っており、余地はないと考える。
	向上させることができるか。	Щ	
_	O+ 1 11 1 W.H	0	可能性がある 可能性がない
有効	④廃止・休止の可能性	理	事業の内容や成果から、廃止・休止はできないと考える。
性	事業の内容や成果から廃止・休止できるか。		
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性	- 1	○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない 事業内容から類似事業はない。
	類似事業との統廃合・連携を図ること	理	争未内谷かり類似争未はない。
	により成果が期待できるか。	由	
			余地がない
効	 ⑥事業費の削減余地		施設の管理運営など幅広い業務があるため、成果を下げずに
率件	成果を下げずにコスト削減できるか。	理	コストを削減することは困難である。
1		由	
		0	適正である 見直す余地がある
公	⑦受益者負担の適正化	0	受益者負担を求める事業ではない
平性	事業内容から受益者の負担割合は適正	理	利用団体等へ利用料金として受益者負担を求めるものであり、適正であると考えます。
ΙΣ	か。	由	

	継続 (●現状維持 ○縮小 ○改善 ○拗大 ○休止 ○廃止(終了) ○統廃合 ○連携
	【理由】
今	生涯学習センターは、地域活動の拠点として、学びやすい生涯学習施設環境の整備充実に取り組み、幅広い
後の	F齢層の人々が安心して活動できる施設として運営を充実・強化していく。
の方	
向	
性	

●基本情報

事	業名(取組名)	図書館管理・運営事	業				評価番号	3-3-9-2(3)	
	担当課 生涯学習課【図書館】 係 庶務係						□ 予算なし		
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続けるる	まちづくり	_	会計	【01】一般会計		
	基本施策	【3】学びやすい生涯学	'習環境の	整備	予算	款	【0109】教育費		
基本	施策	【9】生涯学習環境の整	備充実		科目	項	【010904】社会教育費		
計画		②生涯学習施設の整備				目	【01090408】図	書館費	
	主な取組					事業			

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称			
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	8 年度	□ 事業開始年度不明
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度)	単年度繰り返し	, 〇 単年度のみ
実施手法	✓ 町が直接実施(直営)	□ 委託	(全部委託	□ 一部委託 〕	□ 補助金等
(すべてチェック)	□ 町民協働 □ 指	定管理	」 ₹の他	()
実施形態	☑町単独 □国·県補助	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上	乗せ) □その他	<u>b</u> ()
事業概要	生涯学習を推進するた 民の利用を促進するため		書館を維持管理	里するとともに,	図書の貸し出しなど住

●実施 ~D0~

空調設備改修工事,トイレ改修工事,視聴覚ブースの機器を更新したほか,施設の維持管理のため様々な業 務委託を行った。

図書や雑誌、DVDなどを継続的に購入し、幅広い分野の蔵書を増やした。

事業 業績

		主な歳出の節	令和2年度(実績)		令和3年度(実績)		令和4年度(実績)	
		1 報酬	12, 005, 875	円	12, 331, 114	円	10, 996, 093	円
支出		10 需用費	9, 893, 760	円	9, 582, 461	円	9, 403, 700	円
	内		4, 932, 378	円	8, 503, 726	円	3, 089, 240	円
	訳	14 工事請負費	11, 735, 900	円	2, 065, 382	円	106, 530, 600	円
		17 備品購入費	8, 599, 470	円	2, 999, 652	円	5, 891, 282	円
		その他	2, 318, 322	円	3, 319, 530	円	6, 265, 181	円
		事業費 計	49, 485, 705	円	38, 801, 865	円	142, 176, 096	円
		主な歳入の科目	令和2年度(実績)		令和3年度(実績)		令和4年度(実績)	
		国支出金	8, 028, 865	円	614, 350	円	29, 655, 969	円
		県支出金		円		円		円
財	内			円		円		円
源	訳	地方債	11, 500, 000	円	5, 400, 000	円	78, 600, 000	円
		その他	42, 350	円	43, 309	円	51, 763	円
		一般財源	29, 914, 490	円	32, 744, 206	円	33, 868, 364	円
		事業費 計	49, 485, 705	円	38, 801, 865	円	142, 176, 096	円

		0) 貢献している
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献しているか。	理由	町の生涯学習活動推進における中核施設として,文化教養の向上を図ることができていると考えている。
1 性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当か。	理由	● 見直す余地がある 公共施設には多種多様な性格と目的があり、すべてが指定管理者制度になじむわけではないが、図書館においても検討する 余地はあると考えている
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができるか。	理由	○ 泉直す余地がない ● 見直す余地がある デジタル技術の進歩やコロナ禍において、電子図書館を導入する自治体が増加していることからも見直す余地はあると考える。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき るか。	理由	可能性がある● 可能性がない住民が日常的に利用し、地域社会になじんでいる現状を考慮すると、図書館の廃止・休止の可能性はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できるか。	理由	○可能性がある○可能性がない●類似事業はない
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	理由	余地がない● 余地がある指定管理者を導入すればコスト削減は可能と思われるが、サービスの低下や人材の育成ができないなど、直営に戻した自治体もある。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 か。	_)適正である

	継続 (○現状維持 ○縮小 ●改善 ○ 拗大 ○ 体止 ○ 廃止(終了) ○ 統廃合 ○ 連携
	【理由】
今	公立図書館の持つ役割と、利根町図書館の規模や利用状況を鑑み、併せて電子図書館の導入を検討してい
後 の	く。 - また,図書館は,災害時の代替本部第1位に位置付けられ,防災上重要な役割を担っているため,適切な施
方	設修繕を行っていく。
向 性	
ΙŢ	

●基本情報

事業名(取組名) 子ども読書支援事業							評価番号	3-3-9-3(1)	
担当課 生涯学習課【図書館】 係 庶務係						□ 予算なし			
	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝	き続ける	まちづくり		会計	【01】一般会計		
	基本施策	【3】学びやすい生涯学	智環境の	整備	予算	款	[0109] 教育費 [010904] 社会教育費		
基本	施策	【9】生涯学習環境の整	發備充実		科目	項			
計画		③学習活動の場の提供と	:利用促進]_	目	【01090408】図	書館費	
	主な取組					事業			

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称						
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	23 年度	□ 事業開始年度不明			
事業期間	○ 期間限定あり(事業終う	了年度:令和	年度)	● 単年度繰り返し	○ 単年度のみ			
実施手法	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金等							
(すべてチェック)	☑ 町民協働 □ 指	定管理	3	()			
実施形態	☑町単独 □国·県補胆	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上	乗せ) □その他	()			
事業概要	子どもの読書活動を推して育児中の家庭を支援		生と学習知識ん	への興味を醸成し)ます。また,読書を介			

●実施 ~D0~

業績

新生児3~5か月児相談時、ボランティアスタッフが絵本の読み聞かせを実演し、保護者に絵本や言葉かけの大切さを伝えながら絵本2冊などが入ったブックスタートパックをプレゼントした(対象31人)。また、小学校1年生には本1冊と、推薦図書リストをプレゼントした(対象75人)。

		主な歳出の節	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
		10 需用費	194, 825 円	210, 137 円	204, 886 円
			P	円	Ħ
支	内		H	円	Ħ
出	訳		Ħ	円	円
			H	円	円
			Ħ	円	円
		事業費 計	194, 825 円	210, 137 円	204, 886 円
		主な歳入の科目	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
		国支出金	Ħ	円	円
		県支出金	H	円	Ħ
財	内	受益者負担金	Ħ	円	円
源	訳	地方債	Ħ	円	円
		その他	H	円	Ħ
		一般財源	194, 825 円	210, 137 円	204, 886 円
		事業費 計	194,825 円	210, 137 円	204, 886 円

		0	貢献している 見直す余地がある
妥当	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献しているか。		子どもの読書活動の推進に係る取り組みを, より一層させる ことができていると考える。
性	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当か。	理由	○ 見直す余地がある ボランティアとの協働で事業を実施しているが、特にブックスタートは保健福祉センターとの調整が必要であるため、町が主体となり事業を行うことが妥当であると考える。
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができるか。		○ 見直す余地がある新たなボランティア団体を募るなど、これまでやってきたことを継続していけるような工夫が必要であると考える。
有 効 性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき るか。	理由	可能性がある● 可能性がない乳幼児期から親子が本に親しむことができる環境づくりを行うことは重要であり、廃止・休止の可能性はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性		○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
	類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できるか。	理由	
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	理由	○ 余地がない ○ 余地がある ボランティア団体の協力を得て実施しており、事業費は子供たちに配布する本の購入費用であるため、これ以上の削減余地はない。
公 平 性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 か。	_) 適正である

	継続(○現状維持	○縮小	●改善	○拗大	○休止	○廃止 (終了)	○統廃合	○連携
	【理由】								
今						ィア団体で	を募るなど内容	を創意工夫で	すると同時に,対象者
後の	へのアン	ケート結果が	ヽら効果を	検証し改	:善を図る。				
の方									
向									
性									

●基本情報

事業名(取組名)		図書館講演会・講座事業					評価番号	3-3-9-3 (2)	
担当課		生涯学習課【図書館】	係	庶務係			□ 予算なし		
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			-	会計	【01】一般会計		
	基本施策	【3】学びやすい生涯学習環境の整備			予算	款	【0109】教育費		
	施策	【9】生涯学習環境の整備充実			科目	項	【010904】社会	教育費	
	主な取組	③学習活動の場の提供と利用促進				目	【01090408】図	書館費	
						事業			

●計画 ~PLAN~

根拠法令等		名称				
新規・継続	○ 新規 ● 継続	事業開始年度	平成	年度	☑ 事業開始年度不明	
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了	7年度:令和	年度) (単年度繰り返し	○ 単年度のみ	
実施手法	☑ 町が直接実施(直営) □ 委託 □ 一部委託 □ 一部委託 □ 補助金				□ 補助金等	
(すべてチェック)) □ 町民協働 □ 指定管理 □ 事務局 □ その他 (
実施形態	☑町単独 □国·県補助	助事業 □国・県補助	事業+町事業(上乗	きせ) □その他	()	
事業概要	講演会(公演会)や上映会を開催するなど,住民の教養や調査研究及びレクリエーションなどの向上に寄与するとともに,図書館の利用促進を図る。					

●実施 ~D0~

春の子ども映画会に上映する映画DVD1本を賃借した(参加者4人)。 講演会については、空調設備改修工事により企画することが難しかったため、中止となった。

事業 業績

	主な歳出の節		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
		10 需用費	33,000 円	33,000 円	33,000 円
			H	円	Ħ
支	内訳		Ħ	円	Ħ
出			H	円	Ħ
			Ħ	円	円
			Ħ	円	Ħ
		事業費計	33,000 円	33,000 円	33,000 円
	主な歳入の科目		令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
		国支出金	Ħ	円	円
		県支出金	Ħ	円	円
財	内	受益者負担金	Ħ	円	円
源	訳	地方債	Ħ	円	円
		その他	PI	円	円
		一般財源	33,000 円	33,000 円	33,000 円
	事業費 計		33,000 円	33,000 円	33,000 円

		0	貢献している 見直す余地がある
妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策(主な取組)の達成に貢献しているか。	理由	講演会(公演会)や映画会を開催することで、大人から子供まで幅広い年代の住民参加が期待できると考えられる。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが 妥当か。	理由	妥当である
	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を 向上させることができるか。	理由	余地がない ● 見直す余地がある講演会(公演会)の出演者や内容,映画会の上映作品の選定などについて見直す余地はあると考えられる。
有効性	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止でき るか。	IIII	可能性がある ● 可能性がない ● 可能性がない ● ではなかなか鑑賞できないような古い時代の洋画作品なども上映しているため、根強い映画ファンに支持されているため、廃止・休止の可能性はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ること により成果が期待できるか。	理由	○可能性がある ○可能性がない ●類似事業はない
効 率 性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	理由	余地がない
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正 か。	_	適正である

	継続 (○現状維持 ○縮小 ●改善 ○拡大 ○休止 ○廃止(終了) ○統廃合 ○連携
	【理由】
今 後	図書館に足を運んでもらい、図書館を知ってもらうために開催しているイベントであり、今後も必要な事業として継続する。
の方	講演会の内容や映画会の上映作品の選定など、利用者へのアンケートを実施し、意見を聞きながら改善を図る。
向	
性	